



ねがし



令和8年9月18日発行 第11号

自分とみんなの命を守るために！ ～「1日防災学校」を開催しました～

9月7日（月）、本校において「1日防災学校」を実施いたしました。当日は、事前学習から地震・津波を想定した避難訓練、関係機関の協力による出前講座まで、全校児童が真剣な表情で取り組みました。災害はいつ、どこで起きるかわかりません。学校で学んだ防災の基礎を、ぜひご家庭での備えや会話にも活かしていただきたいと思います。

◎事前学習

避難訓練に先立ち、各学級では児童の学年や発達段階に合わせた映像・デジタル教材を活用し、災害時の安全行動について多角的な事前指導を行いました。

「東日本大震災」と 津波の理解

実際のニュース映像や啓発用の津波映像を視聴し、津波の恐ろしさと高台（北幸公園）や校舎上層階へ避難することの重要性を学びました。

危険予測・ポーズ学習

動画教材を活用し、室内や街中に潜む危険（落下物や家具の転倒など）を確認しました。また、揺れを感じた瞬間に頭を守る姿勢（シェイクアウト行動）を全員で実践しました。

「危険探し」

学校周辺や通学路の危険箇所を予測・整理し、「どこに逃げれば安全か」を考えるワークを行いました。

◎避難訓練

津波警報の発令を想定し、全校児童が一次避難場所である北幸公園への避難を行いました。おしゃべりをせず、素早く落ち着いて行動する姿が見られました。



災害はいつ発生するか分からず、どこにいても即座に行動できるように訓練を繰り返し、体で覚えることの大切さを改めて確認しました。



「地震が起きたときに、危険な場所はないかな？」と考えながら学校へ帰りました。

なお、実際に津波が来た時の避難先は、**ニュー幸林第2駐車場**です。また、避難完了後は、その後の動きについて「自衛隊・消防・警察と学校が連携をとり、次の行動を決定する」という内容で緊急時対応マニュアルを改訂する予定です。

◎出前講座

自衛隊・警察・消防のみなさまのご協力のもと、『避難所で活躍する人や道具』をテーマに実践的な防災知識を深めました。

枝幸警察署



枝幸消防署

陸上自衛隊

